

学校長通信 No.11

平成 26 年度 2 学期終業式 式辞 「泉佐野市の近未来」

今年もあと一週間、皆さんも明日から冬休みですね。クリスマス、大みそかのカウントダウン、お正月とイベント目白押し。自然とテンションのあがる季節ですが、生活も勉強も自分のリズムを崩さず楽しむときは十分に楽しんでくれたらいいなと思います。このことは、ちゃんと両立できることですので、皆さんにはオンとオフの切替えのできる一流の高校生になってほしいと思っています。

さて、今日は私たちの住む泉佐野市のことについてお話してみたいと思います。みなさんは、この泉佐野市が今どんな街になろうとしているか知っていますか。もちろん、いろんな計画がありますので、その全部をお話することはできないのですが、その中で私なりにこれが一番面白いぞ、と思う近未来の計画がありますので、それについてお話したいと思います。

国際医療特区って聞いたことがありますか。世界中から人、モノ、資金、情報が集まってくる国際的医療基地。くらの説明にしておきましょうか。とにかく一流の医療・看護サービスを受けることのできる特別地区のことです。泉佐野市にある「りんくうタウン」がその指定を受けていることは意外と知られていませんが、実はすごい指定を受けています。考えてみてください。世界中から閑空に外国の人がやってきます。その空港のすぐ対岸に世界有数の医療基地があればどうですか。医療や健康目的で泉佐野に来られる外国の方が爆発的に増えると思いませんか。日本の医療技術とサービスは世界でもトップ水準、世界中とくにアジアの人たちがそのサービスを受けたいと思っています。泉佐野市はそんなことを考えているわけです。すごいと思いませんか。

世界に開いた一大医療基地が動き出したら、みなさんの生活も変わりますよ。まず、そこでたくさんの方が働くことができます。みなさんの中にも看護師をめざしている人がたくさんいると思いますが、そのうち、りんくうタウンで看護師が何人でも必要になるようになると思います。さらに海外の人々もたくさん受け入れるわけですから、泉佐野で看護師をするといっても、英語ができたり、中国語ができたり、韓国語・タイ語なんかができると、大変貴重な看護師として一生引っ張りだこですね。きっと泉佐野だけでなくあちこちからも引っ張られますよ。夢のある話だと思いませんか。さらに、外国人のお医者さんや

看護師さん・介護士さんといっしょに働いたりして、海外との距離が一気に近いものになりますね。どうですか。泉南でほっこりと暮らしているつもりなのに、とんでもなくグローバルですよ。

看護師さんだけのことではありませんよ。医療施設が増えてたくさんの患者さんがくるようになり、たくさんの方が働くようになると、そこに子どもを預かるキッズセンターも必要になります。すると保育士さんの出番ですよ。また、海外から泉佐野市に来てくれる人たちを相手にいろんな仕事が考えられます。通訳さんもいるし、施設案内のコンシェルジュも必要ですし、健康最優先の食材を使うレストランやそういった食材の供給サービスも必要だろうし、「安さで勝負」というのではない仕事がどんどん広がっていくでしょうね。ただし、必要なことは、そういう時、外国人相手でも物おじせず友達のようにおもてなしできること。日根野高校は、そういうフレンドリーでホスピタリティに富んだ人材を送り出したいと思っています。そういう学習プログラムをもっともっと皆さんに提供していきたいと思っています。

泉佐野がすごいことになりそうですね。そんな泉南に生まれたことに誇りを持って・・・
がんばろうぜ、日根高生。